

おはようございます。

本日より、令和4年度が始まりました。皆さんは、春休みをどのように過ごされましたか。きっと新型コロナウイルス感染防止策の徹底を図りながら、新年度を迎える準備に大忙しだったのではないのでしょうか。

今日から新しい学期を迎え、心新たにスタートラインに立ちました。まず、目標を立てゴールまで全力をあげてどのように走り抜けようかと考えましょう。

目標を設定する場合、自信過剰な高い目標設定、あるいは低すぎる目標設定では、効果をもたらすことはできません。したがって、その見極めをしっかりとした上で目標を設定する必要があります。その目標がクリアされたならば、もう少し高めの設定をしながら自らの意識の向上に努めます。一つの目標達成は、また新たな意欲や希望を生みだし、力を与えてくれます。

人は誰でも新しい節目を迎えたとき、「今年こそは、頑張るぞ」とか「今度こそは・・・」と何か目標を掲げ、決意を新たにします。しかし、日を重ねるにつれてその決意すら忘れ、「こんなはずではなかった」と自問自答することが多々あります。時々立ち止まって、「三日坊主」を断ち切る勇気を持ちましょう。「初心忘るべからず」、「継続は力なり」を心得てください。そして、目標を掲げたならば、何事にも興味・関心を持ち、諦めることなくチャレンジを続けてください。

本年度の本校の重点努力目標は、昨年度に引き続き「自信と誇りを育む農業教育の推進～生徒が輝き 地域が輝き 未来が輝くために～」です。自分の未来と地域の未来を、自らの意思と行動で切り拓く力を身に付け、地域に貢献し信頼される人間になってほしいという思いからです。皆さんが、新しい時代を力強く歩み、新しいことや難しいことに果敢にチャレンジすることを恐れずに、そこで出会った積極的失敗を糧にして、自分自身の主体性をしっかりと身に付けていただくことをお願いいたします。

そして最後にもう一つ、コロナ禍ではありますが、気持ちの良いあいさつのできる学校、そして、率先して清掃活動ができる学校を目指そうということをお願いして式辞といたします。

令和4年4月8日 愛媛県立伊予農業高等学校長 松永 泰